

平成28年度 五ヶ瀬町立坂本小学校自己評価書

評価については、4段階評価（A：期待以上 B：ほぼ期待通り C：やや期待以下 D：大幅な改善を要する） C、Dの評価については、理由及び改善のための取組等を記述。

		評価項目	評価	理由及び改善のための取組等	
1 2 3 4 5 6 7	職員・満足度及び態度	子どもたちは、毎日楽しそうに学校に通っている。	B	○ 今年度は、校長・教頭をはじめ5名の職員が転入したが、全職員で互いに教え合い、カバーしながら熱心に教育活動に取り組んだ成果を保護者からも評価していただいた。	
		職員は、教育活動に熱心に取り組んでいる。	A	○ 来校される保護者や地域の方々に対して、明るく丁寧に対応することは、どの職員であっても気を付けながら業務に当たっている。このことも保護者アンケートから一定の評価を受けている。今後も「地域があって、子どもいて、学校がある」という五ヶ瀬町の基本スタイルを意識していきたい。	
		職員は、まとまりがある。	B	○ 子どもたちのあいさつについては、学校内では明るく、元氣よくあいさつできているが、地域や家庭内では、今一歩というところである。実際、地域の方々からもそのような声を聞くこともある。その都度、全職員で共通理解しながら、すぐに指導した。今後も、継続的に指導しながらよりよい改善を目指したい。	
		保護者や子どもが学校生活に悩みがあって相談したとき、職員は親身に応じている。	B		
		職員は、本校に来校した地域住民や保護者に明るくいていねいに対応している。	A		
		学校行事や体験活動には、地域住民や保護者が参観しやすいよう工夫している。	B		
		子どもたちは、地域住民や子ども同士で気持ちよい挨拶ができています。	C		
8 9 10	保護者の交流と地域と	普段から教職員と保護者と交流ができています。	B	○ 地域の行事には、職員も積極的に参加し、地域の方々との交流も図ることができた。	
		教職員が地域の行事に積極的に参加するなど、地域住民との交流ができています。	B	○ 子どもたちは、春祭りや例大祭、五ヶ瀬町60周年記念イベント等、積極的に参加した。また、敬老会においても、事前に練習を重ね、歌を歌ったり、会話をしたりしながら交流を深めた。今後も積極的に取り組ませよう、学校としても指導・支援を繰り返したい。	
		地域の行事に子どもたちが積極的に参加・協力する体制ができています。	A		
11 12 13 14 15 16 17	危機管理・情報公開	子どもたちのけがや病気に対して、適切に対応している。	B	○ 防災訓練については、これまでに、風水害・不審者・火災・地震についての非常時訓練を繰り返してきた。子どもたちは、非常時にどのように行動するかを身をもって学んできたが、今後は、自分で判断し、適切な行動が取れるように指導していく必要がある。また、保護者に対しても緊急時の連絡に対しては、今年度、SNS（ライン）を整備し、すぐに全保護者に対して連絡が取れるようにした。このことにより、緊急時だけでなく、早急に保護者に連絡すべき事項も連絡できるようになり、保護者からも好評である。	
		防災訓練や緊急連絡等の一斉メールなど、非常災害時の対策を十分に講じている。	A	○ ホームページの更新については、昨年度に比べて、やや更新回数が増えたが、学校だけでなく家庭教育学級が作成する「さかもと新聞」は定期的に発行した。	
		学校の教育方針や重点的な取組が明確で、地域や保護者に浸透するよう努めている。	B		
		いじめ防止のための対策やいじめ発生時の対応・態勢がとれている。	B		
		配付資料やホームページ等で、学校や子どもたちの様子を適切に公開できている。	B		
		職員は、学級の状況をよく把握し、教育懇談会などの保護者会において、保護者に学校・学級の様子をよく伝えている。	B		
		保護者面談等において、子どもたちの様子を保護者と共有することができている。	B		
18 19	環境	学校内の掲示物を工夫するなど、児童生徒の学習環境が整えられている。	B	○ 少人数で、かなり広い場所を清掃するので、曜日ごとに場所を分担したり、朝のボランティア活動を積極的に進めたりしている。今年度は、屋上の防水工事や旧飼育小屋の解体等が終わり、環境整備は整いつつある。	
		清掃・整理整頓が行き届いており、明るく清潔な環境の中で教育ができています。	B		
20 21 22 23 24 25 ① ②	確かな学力	諸学力調査の結果を分析・考察し、指導に役立てている。	B	○ G授業については、どの学年においても、年間計画に沿って進めている。各学校の子どもたちが集まり、G授業を行うメリットを最大限に生かしながら、今後も取り組んでいきたい。子どもたちのアンケート結果を見ても「G授業は楽しくて自分のためになる」と答えている児童が80%を超えており、今後も工夫・改善しながら取り組ませたい。	
		児童・生徒一人一人の学力を的確に把握し、学習指導を展開している。	B	○ 県学力検査及び全国学力検査結果を見ると、本校児童はいずれも県・全国平均を上回る結果であった。今後も低学年の段階から、基礎的・基本的な学習内容の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力の育成に向けて授業の質を高めていきたい。	
		授業力向上のための研究授業や研修の充実を図っている。	B	○ 定期的に行っているスピーチ集会では、国語の学習で取り組んだ音読や意見発表等を、全校児童の前で堂々と発表できる児童が増えている。また、11月に行われた町美術の祭典においても、特別賞3名、金賞4名、銀賞3名と多くの児童が入選した。	
		小学校相互に効果のあるG授業の実践を積み重ねている。	A		
		外部機関と連携した取組を指導に生かしている。	B		
		各種調査結果より本校の授業等で、子どもたちの学力が向上している。	B		
		学力向上タイム（国・算）を計画的に行い、習熟を図っている。	B		
		読むこと・話すこと（音読、スピーチ集会等）、書くこと（作品づくり、ノート指導等）をとおして、表現力の育成に努めている。	A		
26 27 28 29 ③ ④	豊かな心	地域の人材や資源を学習活動等に効果的に活用するなど、五ヶ瀬（地域）のよさを幅広く認識する教育活動を意図的に実施している。	A	○ 春の遠足や農業体験、収穫祭においては、今年度も地域の方々にも協力していただきながら、活動の目的を十分達成することができた。今後は、活動の目的や内容を幅広く地域の方々へも発信していきたい。	
		学校行事や体験活動は、五ヶ瀬を知り、五ヶ瀬で学び、五ヶ瀬に貢献するという観点から工夫され充実している。	B	○ 上記の項目と同様、「いつでも どこでも 誰にでも」のあいさつを今後も継続して指導していく。	
		学校行事や体験活動の目的や内容は、地域住民によく理解されている。	B		
		本校の教育活動により、子どもたちが成長している。	B		
		「あいさつをいつでも どこでも 誰にでも」が実践できている。	C		
		危機管理体制を充実させ、家庭や地域、関係機関と連携して、安全教育の徹底に努めている。	B		
30 31 32 33 ⑤ ⑥	健康・体力	朝食、早寝早起き、健康な歯や口腔の衛生等、健康的な生活習慣づくりのための取組に努めている。	B	○ 保護者アンケート結果から、「早寝・早起き・朝ご飯」の実践をはじめ、家庭における基本的な生活習慣が十分身に付いていると言われている。今後、学校と家庭が更に連携しながら改善を図ってきたい。	
		テレビやゲーム等のメディア利用の適正化に向けて、家庭と連携した取組に努めている。	B	○ 5月に行った体カテストでは、握力・50m走・立幅跳びがやや平均を下回った。この結果をもとに、「体力向上プラン」を作成し、体育の時間をはじめ、元氣タイム等で改善を図ってきたい。また、校舎内ホールに、「たくちゃんホール」と題し、体力向上のための環境を整備した。今後、子どもたちにも積極的に取り組ませ体カ向上を図りたい。	
		体力テストの結果や体力向上プランをもとに、児童生徒の体力向上にしっかりと取り組んでいる。	B		
		「体力向上プラン」を、体育科学習の工夫改善に役立てている。	B		
		「早寝・早起き・朝ご飯」の実践を身に付けている。	C		
		体育指導や立腰指導により心身の健康増進を図っている。	B		

【平成28年度の総括評価】

○ 五ヶ瀬教育ビジョン及び学校経営方針に基づき、全職員一丸となって教育活動を行ってきた。「地域があって 子どもがいて 学校がある」というスタンスに基づき、教育活動における地域人材の活用や地域行事等への積極的な参加を呼びかけ、実践を重ねてきた。今後も引き続き取り組んでいきたい。

○ 子どもたちのあいさつについては、今後も地域の方々や保護者の声に真摯に耳を傾けながら継続的な指導を繰り返したい。

○ 学力向上のための授業改善やG授業での取り組み、学力向上タイム等の効果的な活用により、子どもたちの基礎的・基本的な学習内容の定着、思考力・判断力・表現力の育成を図りたい。

○ 基本的な生活習慣の確立に向けて、家庭との連携を密に行いながら子どもたちの心身の健康増進を図りたい。

○ いじめの問題については、「いつでもどこでも起こりうる」という危機感を常にもちながら、全職員で児童の様子をきめ細かに観察していきたい。